

# 見え方の違い

# 立場によって見方が変わる

例えば、職場のオーナーに対して、「**ウチのオーナーは利益最優先だ。**」「**金のことしか考えていない。**」等と耳にする事があります。

逆にオーナーから、「**ウチの職員は意識が低い。**」「**低レベルだ。（技術的というより意識的に）**」という声も耳にする事があります。

何故このような愚痴がでるのでしょうか。

もちろん、上記はごく一部の事です。多くの方は、「ここで働けて幸せです。」「ウチの職員はすごく頑張っている。」等仰っていただいております。

今、この資料を読んでいるあなたは、どのような立場の方ですか？

- ・オーナー
- ・管理者
- ・生活相談員
- ・介護職員
- ・機能訓練指導員
- ・その他

# 立場によって見方が変わる

オーナーの立場で物事を見てみましょう。

ほんの一例ですが、毎月の**収入(売上)**より**支出(経費)**が上回れば**損失(赤字)**になります。毎月続くと非常に焦ります。

自分(個人)に置き換えてみましょう。

毎月支払わなければならない出費があります。

家賃・水光熱費・携帯代・食費・etc

時には、給料より出費の方が多い月もあるでしょうが、毎月続けばどうしますか？

**出費を抑える・給料がいい職場へ転職する・給料アップの交渉をする**  
等々、非常に焦って現状を改善しませんか？

そこには、やりたい事ややってみたい事は一旦後回しになる事もある  
はずです。何より生活出来る事が第一だから。

# 立場によって見方が変わる

**理想を追うなというわけではありません。**

**物事には順序があるという事です。オーナーの方針にもよりますが、何よりもまず施設運営を継続させるために、利益の確保がビジネスでは最優先されます。**

**そこは、理解して下さい。**

**こうなっては元も子もない→**



# 立場によって見方が変わる

次に、職員の立場で物事を見てみましょう。  
どんなに売上や利益の話しをされたところで、**目の前で利用者様が現実問題として存在するのです。**  
中には**重度の認知症、徘徊等々**大変な人もいるでしょう。  
しかも、何という事でしょう。さらに利用者様を増やせと言うのです。

・・・と言うような職員を「**レベルが低い**」と片づけていませんか？

楽をしようと思って入社する職員はいません。  
仕事が大変な事はわかっています。問題行動のある利用者様に対してのケアが確立されていないから混乱しているだけなのです。  
職員がどのように連携し、対応するのかを確立するまでは試行錯誤の繰り返しです。それが介護です。

# 立場によって見方が変わる

人によって得手不得手があります。  
職員をキッチンと観て適材適所に配置する。  
フロア配置の事ではありません。組織的な配置という意味です。  
的確な組織作りと維持。ほっとくと組織はじきに崩壊します。  
当たり前ですが職員は、物ではありませんので、定期的にガス抜きも  
してあげて下さい。



# 立場によって見方が変わる

## 管理者・生活相談員

どちらの職種の方も同じような視点で見られている事が多いように思います。

先にあげた、オーナーからの意見、職員からの意見によく板挟みにされているのをお見掛けします。

オーナー、職員以外に、ケアマネジャー、ご家族から精神的なプレッシャーを受けている事が多いので、いたわってあげて下さい。

## 機能訓練指導員・送迎職員等

短時間の労働時間なのですが、機能訓練計画書の作成、日々の記録や運行日誌をちゃんと記載されていない方も見受けられます。

短時間の方と思わず、樹樂の介護に巻き込みましょう。

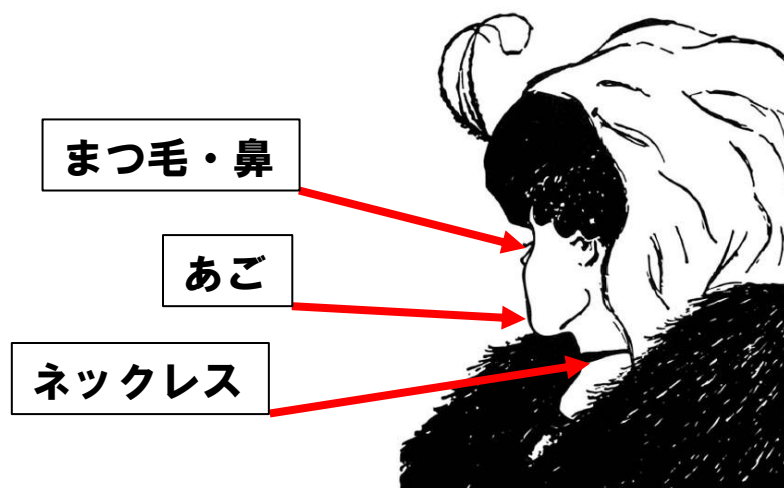
と、ここまでは、それぞれの立場別にわかり易く説明しました。  
価値観によっても見方が変わる。それは、同じ立場であっても起こりうる見解の相違です。

下の絵は有名ですが、どのような絵に見えますか。

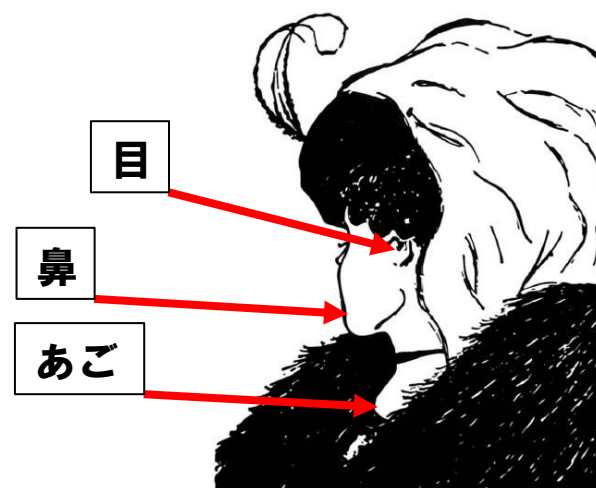


# 価値観の違い

ある人は、「**おばあさん**」に見えるといいます。  
 またある人は、「**奥に顔を向けている若い女性**」に見えるといいます。



若い女性



おばあさん

見る人によって見方が変わりますが、**誰かがいて初めてもう一つの見方があると気付く**事もあります。

# 価値観の相違

同じ介護職員同士であっても、年代・性別・既婚未婚等々出身地や果ては生い立ちなんかも絡んでそれこそ**千差万別の立場や価値観**があります。

当然見え方も違い、感じ方も思う事も違ってきます。

意見が食い違う事もあるでしょうが、**合う方が奇跡的な確率**です。

と、思う事にしましょう。

相手の立場は立とうと思っても立てないので、想像しかできませんが、理解しようとする努力は、**お互いやるべきです**。

相手がやらないなら、こちらからやりましょう。

それでもしないなら、努力し続けましょう。

# 価値観の相違

**相手を完全に理解することは、不可能かもしれません。**

**でも、それは介護も同じですね。**

**相手の考え方を拒否するという事は、自分の考え方の限界を決める事です。**

**誰からも学ぶことはあります。学ぶことが何も無い人間はいません。**

**それは、観る目が無いだけです。**

**相手の立場に立つ気持ちを持っていれば、職場の雰囲気も明るくなり、利用者様の笑顔につながるはずです。**

**利用者様の笑顔は、  
職員の笑顔から！**

